OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	万博公害が起きぬように…
Author(s)	今井, 宏
Citation	大阪公衆衛生. 1969, 23, p. 20-20
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/84362
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka



万博公害が起きぬように…

堺市鳳保健所長　今井　宏

「人類の進歩と調和」を基本テーマとする万国博が近づき，大阪が万博一色にぬりつぶされる日も間近いことと思います。過日初めて建設中の会場の一部をみせていただく機会を得ましたが，卒直に申して，この大事業にとりくむ裏方の人達の労苦のきびしさを特に痛感しました。なかでも私達公衆衛生にたずさわる者の一人として，やはり関係の深い食品や環境衛生の問題，伝染病予防，救急医療の対策など，日は当たらないが，この事業達成には必須のものと考えられるいろんな問題が，どのように取り扱われているのであろうかと，おそまきながら大いに関心を持ちました。

ところでこの330万平方米にも及ぶ広大な会場建設は，即ち未来都市のモデル作りであり，新しい都市づくりであると思います。新しい町（市）が出来るわけです。町が新たに出来るという事で，私達が日常直面している環境衛生上の悩み，例えば汚物処理や清掃の問題等について，同じような問題がやはりあるのではないかということで一考させられます。

それで，この点について一言ふれてみたいと思います。私達のまわりでもいわゆる都市化現象や高度経済成長その他の事由により，どんどん市が発展して行きますが，その中で最も困っているのは都市廃棄物の処理問題であります。ことに第一次産業による都市廃棄物の処理については，その方向づけも未だ決定しかねている現状です。未来都市では，新都市計画の策定も十分なされ，例えば道路網，下水道網，還元処理施設など重点的に考慮されるわけですが，私達のまわりでは，現時点で一般家庭よりの廃棄物の数倍も数十倍もある大量の廃棄物をいかにして処理すべきか頭を痛めます。

〝町を美しくする運動〟ということで環境浄化，ないしは美化運動が大々的にとりあげられても，最終的に困惑するばかりです。万博会場においても各種展示館等の建設や地域冷房等の多くの試みの他に，このようなごみ処理，不燃性廃棄物処理，し尿処理等を含めたことに，都市清掃ということで美化運動は最も大切な問題の一つと思います。ごみ等の処理については，一人一日の排出量や滞留者数等との関係をも十分考慮し，ダストカート，運搬車，クレーン車等で閉場後，夜間もフル回転で近くの焼却工場または，埋立処分地におくられ，一応処理されることになっているとは聞いておりますが，ひるがえって私達のまわりでは，はっきりした処理施設，処理方法を持たない限り，市民の不法投棄などを十分指導出来ないのではなかろうかと思います。

日頃悩まされている環境整備問題の一端を，新しい町づくりを進める万博に関連させて記しましたが，産業，経済成長の高度発展，科学の進歩など社会活動の高度化，集中化に伴い，排出されるこれら有害性の廃棄物は増加の一途にあり，このことは二次的公害を引きおこしていることは言を待ちません。そこで都市廃棄物についてこの際いっそうの認識が必要であると考えるとともに，万博開催にあたっても万博公害のおこらないよう十分の配慮が必要だと思います。

遠くにあった万博が近づいた実感として，当市でもコレラ種痘などの予防接種を実施したり，フローティング・マリン・ホテルとして使用されるスエーデン船スペラポラリス号の堺港停泊も予定され，船内浄化槽設置や廃棄物処理等々の問題で，これからもますます多忙な時期をむかえて行きますが，来年3月，全世界待望の万国博が成功裡に開催され，終了するよう期待するところ大であります。